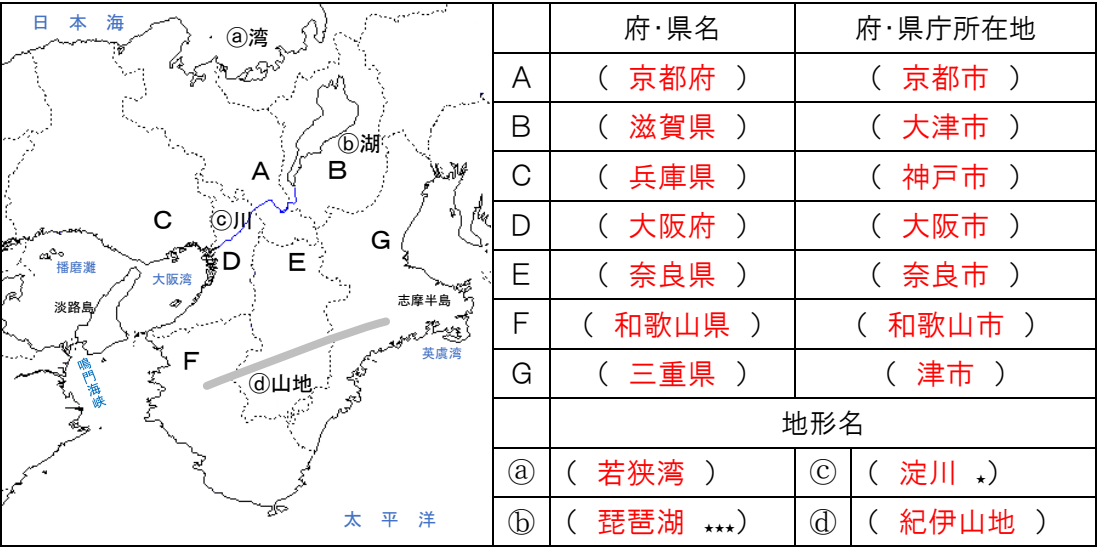


1

近畿地方の自然環境

○中央部の低地と南北の山地



近畿地方:大きく北部・中央部・南部の三つの地域に分けられる

中央部:(琵琶湖)と(淀川)を中心とした低地が広がる

→近江盆地・京都盆地・奈良盆地などの盆地と、大阪平野・播磨平野などの平野が広がる

→京都・大阪・神戸などの大都市が集中する地域

北部:中国山地や丹波高地などのなだらかな山地が広がる

南部:紀伊山地の険しい山地が広がる

沿岸部:北は日本海、南は太平洋、西は瀬戸内海に面する

→播磨灘や大阪湾のほとんどが人工海岸、若狭湾や志摩半島に(リアス海岸)がみられる

＜日本の面積・人口に占める近畿地方の割合(2019)>

面積 38万km ²	九州 11.8%	中国・四国 13.4	近畿 8.8	中部 17.7	関東 8.6	東北 17.7	北海道 22.0
人口 1.2億人	九州 11.4%	中国・四国 8.8	近畿 17.7	中部 16.9	関東 34.1	東北 6.9	北海道 4.2

○三つの地域で異なる気候

近畿地方：北部・中央部・南部で気候が異なる

北部：北西からの（ 季節風 ）により、冬の雨や雪が多い

南部：黒潮の影響で冬でも温暖

→和歌山県は果樹栽培（みかんや梅など）と観光業が盛ん

紀伊半島の南東側：南東からの季節風で夏に雨が多く降る

→紀伊山地は温暖で雨が多く、林業が盛ん

中央部

平野や盆地を中心に夏の暑さが厳しい

→内陸の盆地は夏の暑さが厳しく、冬は冷え込むため1年の気温差が大きい

北と南を山地に挟まれており、年間を通して降水量が少ない

→播磨平野や奈良盆地など、（ ため池 ）が多く造られる

<近畿地方の主な都市の雨温図>

